

小・中学校の先生方へ

～博物館利用の手引き～



福井市立郷土歴史博物館

目次

見学プランのご案内	3
《手続きの方法》	5
博物館利用の方法①	7
《展示見学のご案内》	7
【ツールその① コミュニケーションシート〈次頁一覧表参照〉】	11
(1) スタンプラリー・・・小学校低学年以上	11
(2) もの知りシート・・・小学校中学年以上	11
(3) ワークシート・・・小学校6年生以上	11
【ツールその② 音声ガイド】	11
コミュニケーションシート一覧	12
博物館利用の方法②	15
《体験学習プログラム》	15
体験学習プログラム①「古墳時代の鏡を作ってみよう」	15
体験学習プログラム②「まが玉を作ろう」	15
体験学習プログラム③「へんしん越前屋の衣裳を着てみよう」	16
体験学習プログラム④ 江戸時代のお金	16
博物館利用の方法③	17
《貸出し用教材を使う》	17
博物館利用の方法④	32
《出張授業を利用する》	32
別添用紙	
利用申込書	33
職員派遣申請書	34
貸出し用教材利用申込書	35
質問シート	37
アンケート	38

見学プランのご案内

①博物館と養浩館をスタッフの解説付きで見学する。

所要時間：約90分（概要説明と移動5分、博物館50分、養浩館30分）

20～30人に1人ずつ、学芸員またはボランティアがついて解説します。

②博物館と養浩館を自由見学で回る。

所要時間：60分～90分（概要説明5分、自由行動、希望によりコミュニケーションシート利用）

③変身体験＋博物館・養浩館の解説付き見学

所要時間：変身体験約30名で40分～50分

①にへんしん越前屋の体験を加えます。

④変身体験＋博物館と養浩館の自由見学

所要時間：（人数による）90～150分（概要説明5分、展示室を自由行動40～120分、その合間に変身体験。養浩館見学30分）

②にへんしん越前屋の体験を加えます。最大30人×2クラス程度までお受けできます。5～6人のグループに分かれて自由行動とし、グループごとに入れ替わり変身します。

⑤博物館と養浩館庭園を見学し、ボランティアの戦争体験を聞く

所要時間：~~2時間半程度（概要説明5分、博物館50分、福井戦災のビデオ5分、ボランティアによる体験~~

このプランは現在ご利用できません。

~~常設展示室の全体と、戦災のコーナーを重点的に見学した後、講堂で戦災のアニメビデオを見てからボランティアによる体験談を聞き、質問などを行う。~~

⑥体験学習「鏡作り」と博物館・養浩館見学を行う

所要時間：昼食を含めて5時間程度（鏡型流し込み60分、鏡乾燥時間2時間半～3時間（この間に、博物館50分と養浩館30分見学、昼食80分）

朝9時に始めると15時頃終わります。学芸員から古墳時代の鏡作りについて説明を受けた後、石膏を鏡の型に流し込みます。石膏が固まるまでの間に見学し、昼食を取ります。その後石膏を型からはずして後片付けをして終了です。色は完全に乾いてから学校か自宅で塗っていただきます。作業場所が狭いため、25名までの場合にご利用いただけます。

⑦体験学習「まが玉づくり」と博物館・養浩館見学

所要時間：約3時間半（まが玉作り2時間程度、博物館見学50分、養浩館見学30分）
学芸員から古代のまが玉作りの方法などを聞いたあと、砥石で削る作業を行います。
完成後に見学を行います。利用人数は25名までです。

⑧福井城跡を散策して、合わせて博物館と養浩館を見学する

所要時間：2時間半～3時間程度

（散策1時間半程度、博物館見学40分、養浩館見学30分）

福井駅周辺の史跡を分かりやすくまとめた「歴史なびマップ」を持って散策し（自由行動）、その前後に博物館に立ち寄り、より理解を深める。

※その他組み合わせなどご希望がある場合は、ご相談・打ち合わせの上、決定します

【昼食について】

博物館の館内は原則飲食禁止となっておりますので（ロビーでお茶を飲むのは可）、隣の公園（芝生の広場です）での食事となります。雨天時は博物館周囲の庇のある部分をお使いになれます。（30人程度）

【バス駐車場について】

バス用の駐車場が養浩館公園の駐車場にありますので、そちらをご利用ください。台数が限られていますので、利用申込書をご提出の際に、所定の欄にバス駐車希望の旨明記してください。

利用が決まったら

《手続きの方法》

①お問い合わせ・お申し込み

お問い合わせ・お申し込みは、電話またはメールでお受けいたします。必要により学芸員またはボランティアが加わって対応します。ボランティアの日程調整を行いますので、できるだけ早めのお申し込みをお願いいたします。なお他校との日程調整などにより、ご希望に添えない場合があることをご了承ください。

お申し込み期間（日程決定）のめやす

展示解説が必要 or 体験プログラム希望の場合・・・2週間前まで

短時間の見学や自由な学習の場合・・・・・・1週間前まで

できるだけご希望に添いたいと思いますので、まずはお問合せください。

※ボランティアの役割

- 展示室で児童・生徒の皆さんの質問に答えたり、スムーズな見学をお手伝いします。
- 体験学習のお手伝いをします。

②利用申込書（別添①）提出

別添の様式にて詳しい希望内容を**Fax**にて送付して下さい。

※利用料金について

小中学生の観覧料は無料です。引率・下見にお越しの先生方も免除されます。免除申請書は必要ありません。体験学習（鏡作り・まが玉作り）は人数分の材料費が必要となります。詳しくはお問い合わせください。

③事前打ち合わせ

当館では、先生方と当館スタッフの協力によって、当日の学習をより良いものとしていきたいと考えております。そこで、利用申込書をもとに、事前に十分な打ち合わせにより、使用する教材の準備や当日のスケジュール管理を行います。先生方には事前に博物館にお越しいただくかお電話をかけていただき、スタッフと打ち合わせしていただくことをお願いいたします。

④質問シート（別添③）の提出

事前に児童・生徒からの質問がある場合はご提出ください。当日の質疑応答がスムーズにできるよう事前に資料などをご用意できます。

⑤学習当日

事前打ち合わせに沿って見学・体験学習・調べ学習のお手伝いをいたします。

⑥事後アンケート（別添④）の提出

当館の学校との連携活動をよりよいものに発展させていくため、ご利用いただいた先生方にアンケートへのご協力をお願いしています。

また、学校へ帰られてからの児童・生徒の皆さんの感想文や、授業で使用了発表資料などがありましたら、当館にコピーなどお送りいただければ幸いです。今後の活動の参考にさせていただきます。

⑦その後

学校からの博物館利用学習が終わっても、児童・生徒の皆さんと博物館とのつながりは続いていくと考えています。いつでも皆さんの質問や来館をお待ちしています。質問がある場合には質問シート（別添③）をご利用ください。

※別添用紙はすべて巻末にまとめてありますのでご参照下さい。

博物館利用の方法①

《展示見学のご案内》

博物館は福井の歴史を知る上で欠かせない資料の宝庫です。

ただし解説の文字や用語がむずかしい箇所もあるので、児童・生徒が興味を持って展示室を巡ることができるように、ワークシートやスタンプラリーなどを用意しています。ご希望によって学芸員による解説も行います。

常設展示室のほか、松平家史料展示室・館蔵品ギャラリー・企画展示室は随時展示替えがあります。なお、展示内容は当館のホームページでご確認下さい。

館外には福井城舎人門遺構が、館の隣接地には養浩館庭園があります。

＜常設展示室＞・・・4つのゾーンに分かれています。

「ふくいのおゆみ」

福井の縄文時代から現代までの歴史を大まかに概観します。縄文土器から人絹取引所の看板まで、各時代を象徴するモノが並んでいます。江戸時代の紙製人体解剖模型「キュンストレーキ」（博物館のロゴマークにもなっています）もここに立っています。

「古代のふくい」

足羽山の古墳から出土した笏谷石の石棺や副葬品をはじめ、金製の耳飾（天神山7号墳）や三角縁神獣鏡（花野谷1号墳）などから、古墳時代の技術を知る事ができます。

また奈良時代に現在の福井運動公園あたりにひらかれた荘園「道守荘〈みちもりのしょう〉」の絵図（実大複製）や、荘園の中での出来事などを再現したジオラマが1,200年以上前の福井を想像させてくれます。

「城下町と近代都市」

越前松平家の城下町として繁栄した江戸時代の福井城、そして明治・大正を経て近代都市として大きく変貌していく福井の市街地の様子を見ることができます。

半石半木で有名だった九十九橋の風景模型や実物の橋脚の大きさにはきっと驚かされることでしょう。福井城本丸の復元模型を観察し、大きく引き伸ばされた城下絵図の上を歩きながら、いまの町並みと比べてみるのも楽しいでしょう。

また城下町から近代都市への急激な変貌を遂げた街の姿を、多くの写真資料で知ることができます。また福井空襲・福井震災という、つらく困難な時代の歴史も伝えていかねばならない大切な要素です。実際に戦災・震災を経験された方々の体験談（映像）などによって、それらの恐ろしさ、そしてそこからのめざましい復興の過程を知ることができます。

「幕末維新の人物」

激動の江戸時代末期、福井藩は多くの優秀な人材を輩出しました。ここでは、人材の登用をはじめ藩政・幕政の改革に力を注いだ松平春嶽を中心に、橋本左内、由利公正、横井小楠、笠原白翁、日下部太郎、W. E. グリフィスといった人々を、ゆかりの品などとともに紹介しています。

＜松平家史料展示室＞

郷土歴史博物館には、福井藩や越前松平家、幕末の藩主松平春嶽に関する資料が多く保管されていますが、それらは福井の江戸時代を研究する上で重要な資料であり、また大名家のくらしや文化をうかがえるものでもあります。ここではそれらを展示替えしながらテーマに沿って展示します。年 6 回程度展示が変わりますので、来館のたびに新しい発見を味わっていただけます。詳細についてはその都度ホームページなどでご紹介します。

＜館蔵品ギャラリー＞

郷土歴史博物館では、福井市内外の方々から寄贈・寄託いただいた福井に関する数多くの歴史資料を保管しており、それらをこのギャラリーで紹介しています。詳細についてはその都度ホームページなどでご紹介します。

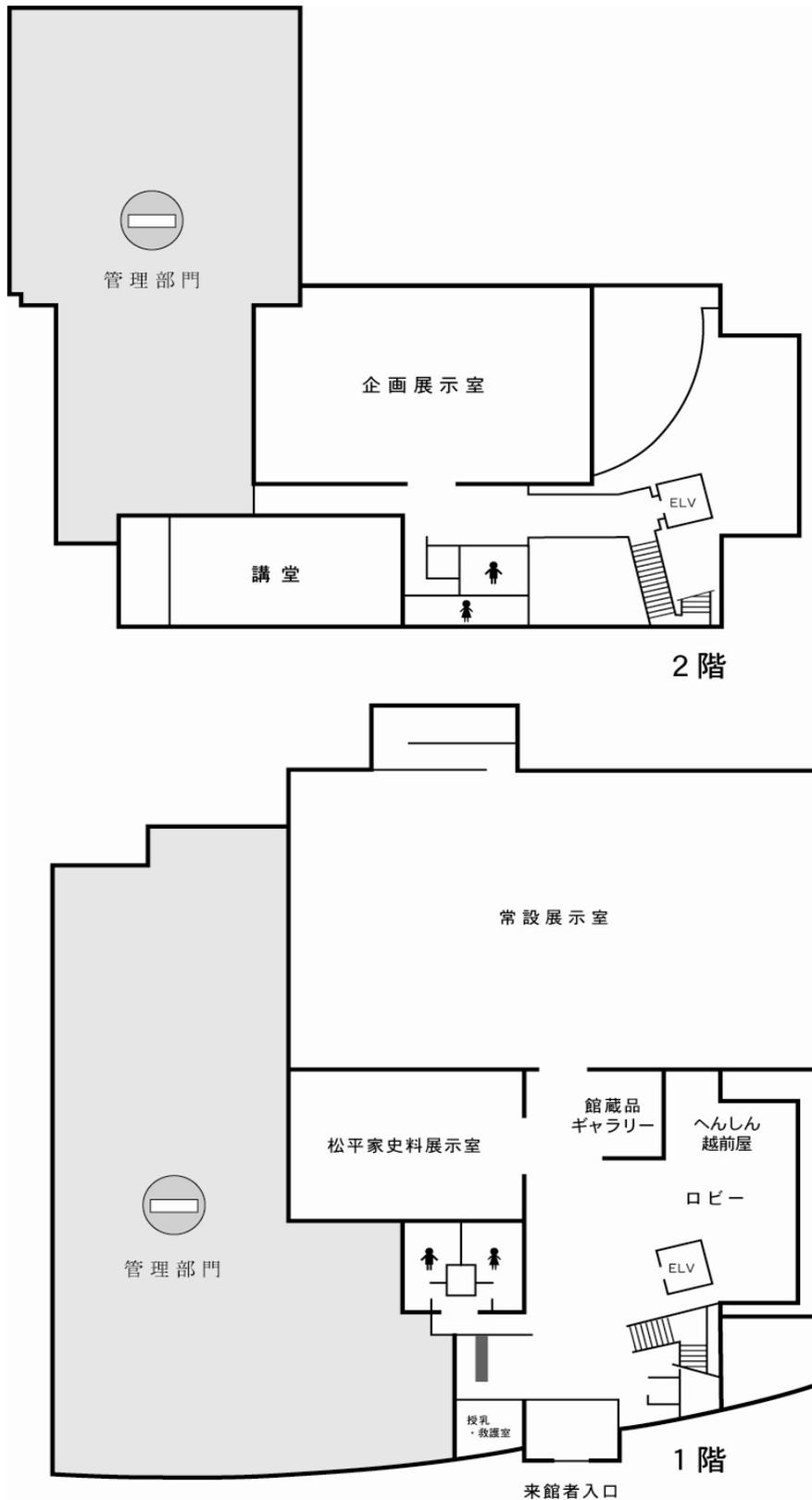
＜企画展示室＞

年 3 回程度、展覧会を開催します。収蔵品や地域に関するテーマでの自主企画のほか、他機関との共催展も行います。原則として夏休み期間には小中学生向けの展示を行っています。普段はなかなか目にすることができない貴重な歴史資料や美術品を県内外から集め、児童・生徒の皆さんがすばらしい文化財に触れる機会を作ります。また、展覧会のテーマの理解や関心がより深まるような関連行事もあわせて行います。

＜歴史体験スペース＞

ロビーの一角にあります。福井の歴史にちなんだ体験ができる場所です。現在の内容は「へんしん 越前屋」で、江戸時代の衣裳や道具を体験できます。大名行列と馬威しの 2 種類のテーマが時期によって入れ替わります。

館内平面図



<福井城舎人門遺構>

江戸時代の福井城の門「舎人門<とねりもん>」やその一帯を復原したのが「福井城舎人門遺構」です。博物館の建設に先立って発掘調査を行ったところ、福井城の北の外堀や石垣、土居、門の礎石、砂利敷き道路や水路、武家屋敷の跡などが見つかりました。そのときの調査成果や福井城下の絵図などをもとに、江戸時代の終り頃（19世紀中頃）の様子を復原し、博物館の館外展示物として公開しています。



<名勝 養浩館庭園>

博物館の東に隣接する養浩館庭園は、旧福井藩主松平家の別邸で、書院建築と回遊式林泉庭園によって江戸中期を代表する名園の一つとして広く知られています。現在の建造物と庭園は福井大空襲で建物が焼失した後、平成5年に復元されたものです。



— 展示見学の際に使えるツール —

【ツールその① コミュニケーションシート〈次頁一覧表参照〉】

いろいろな資料を見つめる事で、気づいたり、疑問に思ったり、納得したりする—「モノとの対話」をお手伝いできるワークシートを目指して作成しました。主に常設展示室の見学の際に使用するシートです。利用目的（学年）別に3パターン、種類は少しずつ増やしていく予定です。

（1）スタンプラリー・・・小学校低学年以上

資料の特徴などをヒントに、なぞの歴史資料を探していくという内容のワークシートです。歴史資料を見つけると、スタンプを押すことができます。各時代のコーナーと養浩館庭園を網羅しているので、初めて当館を訪れた人や、まだ歴史を習っていない低学年の児童でもゲーム感覚で楽しく展示室をめぐることができます。4種類ありグループや個人で自由行動の時間にも使っていただけます。

（2）もの知りシート・・・小学校中学年以上

ある展示物について詳しく知りたいときに役立つワークシートです。展示物をよく観察し、解説を読んでシートを完成させます。シート裏面は持ち帰った後も資料として役立つ内容となっており、参考図書なども掲載しているので調べ学習にも利用できます。

（3）ワークシート・・・小学校6年生以上

教科書で勉強する歴史上の出来事やさまざまな動きについて、「では福井ではどうだったのか？」という視点で作られたワークシートです。設問に沿って自分の考えをまとめていく、という作業を通して福井の歴史を学びます。副読本的データを載せていますので、博物館での利用はもちろん、教室での授業の教材としても利用できるよう配慮しました。ご希望の学校へは郵送することもできます。

**利用方法：必要枚数をご準備します。使い方などについては、事前打ち合わせの際にご相談します。
見学前にあらかじめお渡しすることもできます。**

【ツールその② 音声ガイド】

内容の対象年齢は中学生以上です。ガイドの範囲は常設展示室と養浩館庭園です。学芸員とインタビューの会話形式でわかりやすい内容となっています。PHS型の端末で、展示資料の前にある「音声ガイド」表示の番号を押してガイド音声聞きます。同じ端末をそのまま養浩館庭園に持っていき、同じように庭園についてのガイド音声聞くことができます。50台を用意していますが、1箇所でも多人数がガイド音声にアクセスすると聞き取りにくくなる場合がありますので、30名以上でご来館・ご来園の場合は、学芸員による解説を申し込まれることをおすすめします。



常設展示室内部

コミュニケーションシート一覧

スタンプラリー (小学校低学年以上向き)	展示室内、養浩館庭園を巡る。現在のところ種類は①～④までの4種類。
モノ知りシート (小学校中学年以上向き)	・せっかん(石棺)ってなんだろう?
	・奈良時代の地図を観察しよう(荘園絵図)
	・九十九橋をたんけん!(江戸時代の城下町)
ワークシート (小学校6年以上向き)	・むかしのまち並みにズームイン!(近代)
	・もし、古墳をつくるなら…
	・江戸時代・福井の城下町
	・明治維新と福井の人物たち
	・福井空襲について考える

博物館利用の方法②

《体験学習プログラム》

むかしのものづくりを体験する学習プログラムです。

ご希望の場合は2週間前までにご連絡をお願いします。

体験学習プログラム①「古墳時代の鏡を作ってみよう」

古墳時代の鏡のレプリカを樹脂製の型と石膏を使って製作します。福井市の花野谷1号墳から出土した三角縁神獣鏡（当館所蔵）から作った型に石膏を流し込み、固まったら絵の具で色を塗って、自分だけの銅鏡レプリカを作ります。石膏が固まるには2時間以上かかるため、作業は2回に分かれます。鏡の型は学校に貸し出しも行います。また作業のはじめに学芸員が古墳時代の鏡の説明を行います。

対応可能人数：50人（学校の図工室で実施の場合）

25人（博物館内で行う場合）

適した服装：体操着

※人数分の材料費が必要となります。詳しくはお問い合わせください。



体験学習プログラム②「まが玉を作ろう」

古墳時代の製作方法と同じように、砥石で石を磨いてまが玉を作ります。錐で石に紐を通す穴を開けた後、砥石・やすりでひたすら形を整えます。最後に耐水ペーパーでつやを出し、蛍光ペンで色を塗って完成です。作業のはじめに学芸員がまが玉の説明を行います。錐や金属のやすりなど鋭利な道具を使いますので注意が必要です。小学校高学年で1時間程度かかります。また砥石とともに水を使う作業になります。

対応可能人数：40人（学校の図工室で実施の場合）

20人（博物館内で行う場合）

適した服装：体操着

※人数分の材料費が必要となります。詳しくはお問い合わせください。



体験学習プログラム③「へんしん越前屋の衣裳を着てみよう」

「へんしん 越前屋」の衣裳を着て小道具を持つなどの体験をすることができます。(10:00~12:00、14:00~16:00)

「大名行列」(春から年末)と「馬威し」(冬季)の2種類のテーマがある他、夏は浴衣もあります。衣裳は10着ずつあるので、見学と合わせて多人数でも体験することができます(40人で1時間程度)。**ご利用の際は必ず予約をお願いいたします。**



「大名行列」・・・行列の槍持の格好
(紋付羽織、一文字笠)

※大名行列について

越前福井藩の大名行列を、記録や当館所蔵の資料をもとに推定復元したものの。



「馬威し」・・・馬に乗る武士(紋付羽織又は陣羽織)
馬を誘導する武士(紋付羽織)
馬を威す町人(小袖に鉢巻)

※馬威しとは?

江戸時代に福井城下で行われていた正月行事。

騎馬武者が福井城下を駆け抜けるのを、町人が鳴り物などで威して行く手を阻むというもの。



衣裳は「大名行列」「馬威し」それぞれ各10人分あります。通常は男女とも同じ衣裳を体験します。女兒用着物もありますが、数が少なく着付けにも時間がかかるため、少人数の場合のみご利用いただけます。※衣裳や道具は推定復元したものです。

体験学習プログラム④ 江戸時代のお金

金・銀・銭・紙のお金や千両箱(実物・レプリカ)を手に取りながら、江戸時代のお金のしくみを勉強できます。藩札スタンプで福井藩札のレプリカを作ったりもできます。

学芸員が学校にうかがって出張授業を行うこともできます。

詳しくはお問い合わせ下さい。

博物館利用の方法③

《貸出し用教材を使う》

授業で利用する教材として、資料レプリカなどの貸し出しを行っています。古墳時代の鏡や武具、奈良時代から戦後復興期までの福井市域の絵図や地図、その他教科書に出てくるような歴史資料のレプリカなどがあります。耐久性を考慮して作られたものですので、安心してお使いいただけます。絵図・地図は同じものが5点ずつあるので、教室でのグループ学習にも便利です。

利用する場合は、別添の「貸出し用教材申込書」にご記入いただき、教材の受け渡し及び返却は、博物館にて行います。

	資料名	数量	内容
1	古墳時代の甲冑（福井市天神山7号墳出土品レプリカ）	1	製作当初の様子を推定復元したもの
2	古墳時代の盾（同上）	1	製作当初の様子を推定復元したもの
3	三角縁神獸鏡（福井市花野谷1号墳出土品レプリカ）	1	製作当初の様子を推定復元したもの
4	長屋王宅出土「阿須波里」木簡	1	出土時の状態の複製
5	道守荘の絵図 天平神護2年（766年）	5	実物の約60%に縮小したもの
6	糞置荘の絵図 天平宝字3年（759年）	5	実物大〈正倉院宝物〉
7	糞置荘の絵図 天平神護2年（766年）	5	実物大〈正倉院宝物〉
8	高串荘の絵図 天平神護2年（766年）	5	実物大〈奈良国立博物館蔵〉
9	福井城下絵図 安政3年（1856年）	5	実物大
10	福井城下眺望図 寛政期（1789～1800年）	5	実物大
11	福井名勝地図 明治31年（1898年）	5	実物大
12	福井市市街地図 昭和12年（1937年）	5	実物大
13	福井市街鳥瞰図 昭和8年（1933年）	5	実物大
14	戦後の福井市街地図 戦後復興期（昭和20年以降）	5	実物大
15	①江戸時代の貨幣	1	実物資料
	②江戸時代貨幣一覧	1	実物＋一部レプリカ
	⑧慶長小判・天保小判・万延小判（複製）	1	大きさ・形状を再現したレプリカ
16	江戸時代の藩札	1	寛文2年。現存藩札の中で最古期のもの
17	江戸時代の千両箱	1	重さを体験できる。付属品：小判6枚
18	江戸時代ののぞき眼鏡	1	絵を立体的に見る江戸時代の娯楽の道具
19	松平春嶽の子どもの頃の手形	1	紙にプリントしたもの
20	明治時代の福井新聞	1	明治23年10月1日福井新聞1枚
21	明治時代の地券	1	明治15年福井のもの
22	太平洋戦争の赤紙	1	鯖江市新横江地区に保管されていたもの

古代時代兜 1点

天神山7号墳から出土した古墳時代の甲と盾を、製作当初の様子を推定復原復元したものです。



古墳時代盾 1点

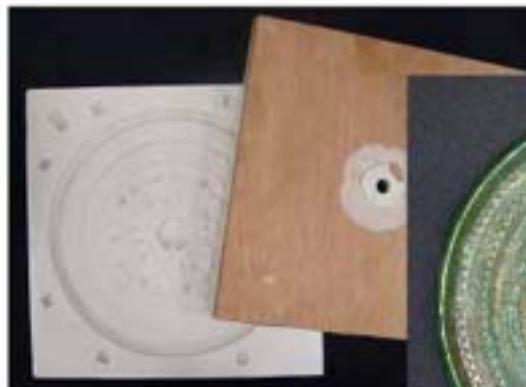
三角縁神獣鏡

1点

花ノ谷1号墳より出土した鏡より製作時の状態を推定復元したもの。青銅製で重量も感じることができます。



なお、このレプリカを作る際の鋳型から、石膏を流し込んで自分でレプリカを作ることができる体験学習用の鋳型を50個作り、貸出しております。出前授業も可能ですので、詳しくはお問い合わせ下さい。



石膏を流し込む鋳型（左側）

固まった石膏に絵の具を塗って完成したレプリカ（右側）





裏



表

長屋王宅出土「阿須波里」木簡 1点

福井の地名あすわ（阿須波）と記された木簡の
製作当初の様子を推定復元したものです。



越前国足羽郡道守村開田図 天平神護2年 5点
実物の約60%の大きさのレプリカです。



坂井郡高串村東大寺大修羅区分田天平神護2年
5点

実物大のレプリカです。実物は奈良国立博物館に保管されています。



足羽郡^{くそ郡}糞置村開田図 天平宝字3 (759) 年 5点

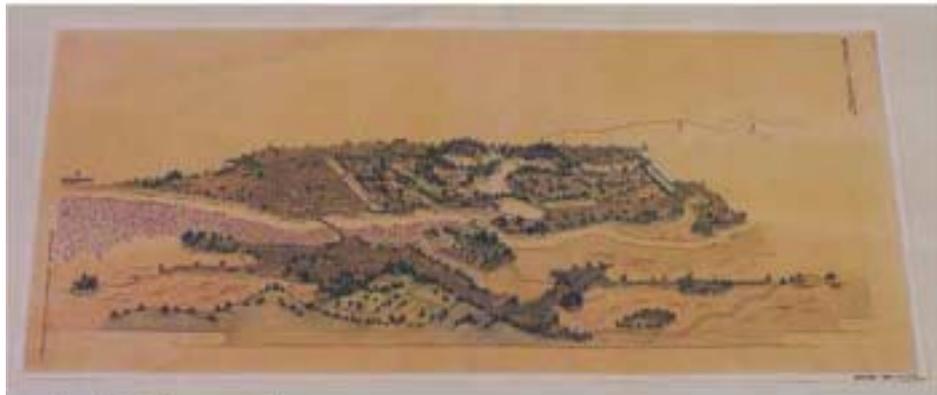


足羽郡糞置村開田図 天平神護2 (766) 年 5点

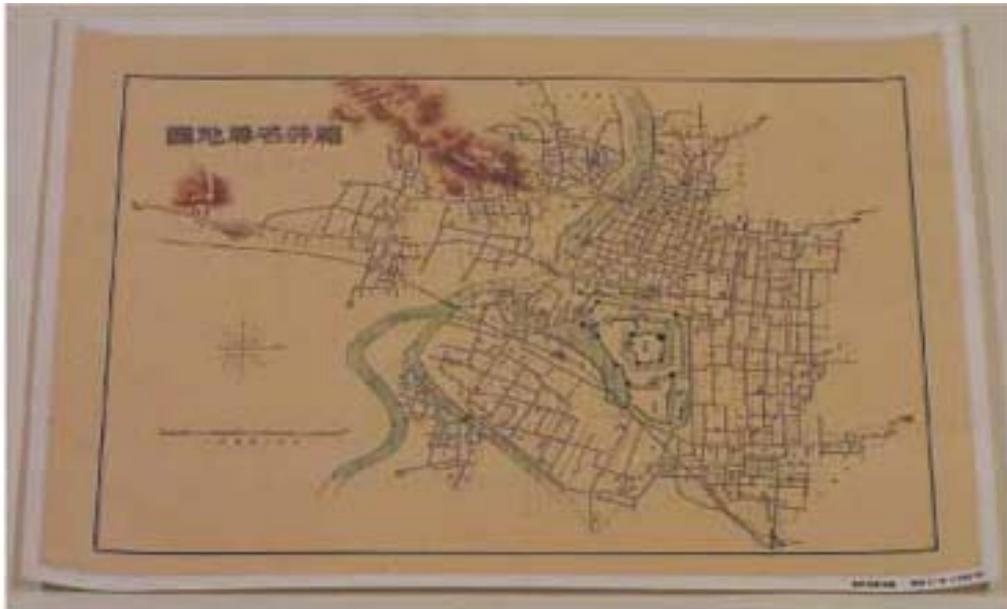
正倉院に納められている絵図の実物大レプリカです。

福井城下絵図
安政3年（1856）
実物大5点

福井城下を描いた
絵図のレプリカで
す。現在の福井市
中心部が昔どのよ
うな様子だったか
がよくわかります。



福井城下眺望図 寛政期（1789～1800年）実物大5点
福井城下全体が眺望できる構図です。足羽川も描かれています。



福井名勝地図 明治31年（1898） 5点

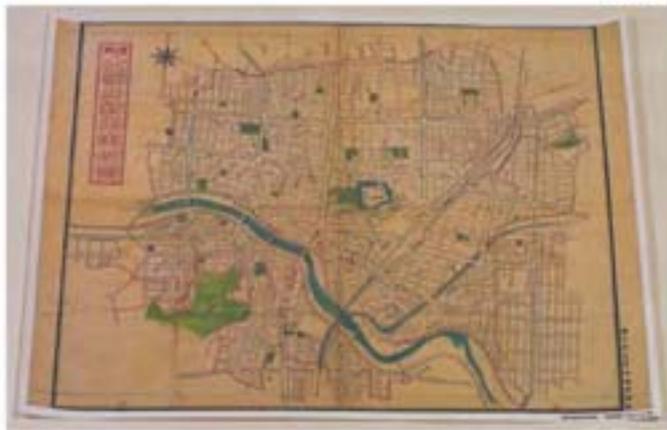


福井市市街地図 昭和12年（1937） 5点

福井市中心部の変遷がよくわかります。



福井市街鳥瞰図 昭和8年(1933) 5点

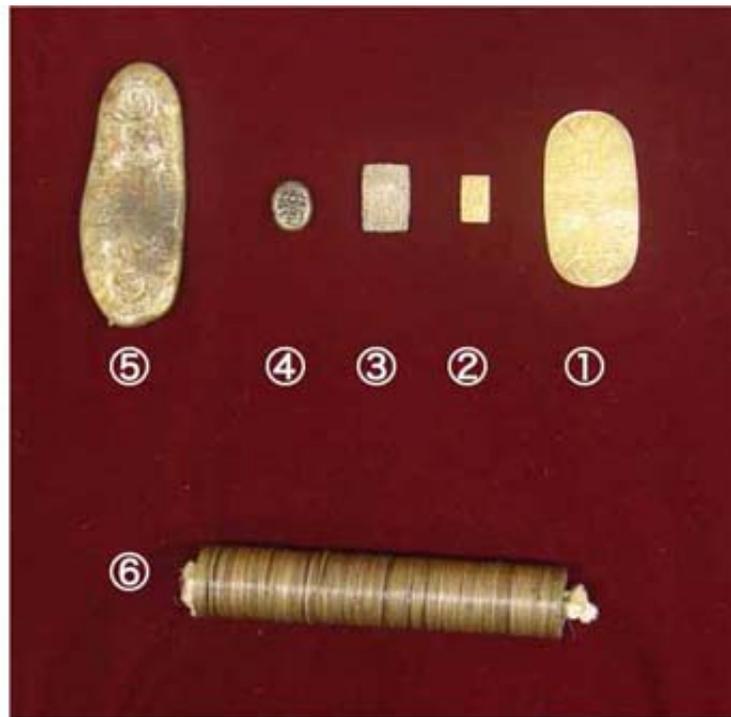


復興大福井新市街地図
戦後復興期(昭和20年以降) 5点



松平春嶽 手形 1点

松平春嶽の手形を紙にプリントしたものを、アクリル板で挟んでいます。



江戸時代貨幣 6種類

すべて実物です。

- ①天保小判（一両） ②天保一分金 ③天保一分銀
- ④安政両面大黑板銀 ⑤安政丁銀
- ⑥寛永通宝（100枚を麻紐に通したもの。一緡^{さし}=百枚=百文）



江戸時代の貨幣（ケース入）



慶長小判・天保小判・万延小判（複製）

江戸時代藩札 2点

寛文2年（1662）。
現存する中で最古の
藩札です。



A表

B裏



A裏

B表



千両箱 1点

小判千両分の重さを再現しました。
実際に持って確かめることができます。



のぞき眼鏡 1点

「眼鏡絵」とよばれる細密な絵を立体的に見ることができる道具です。
江戸時代にヨーロッパから伝わりました。

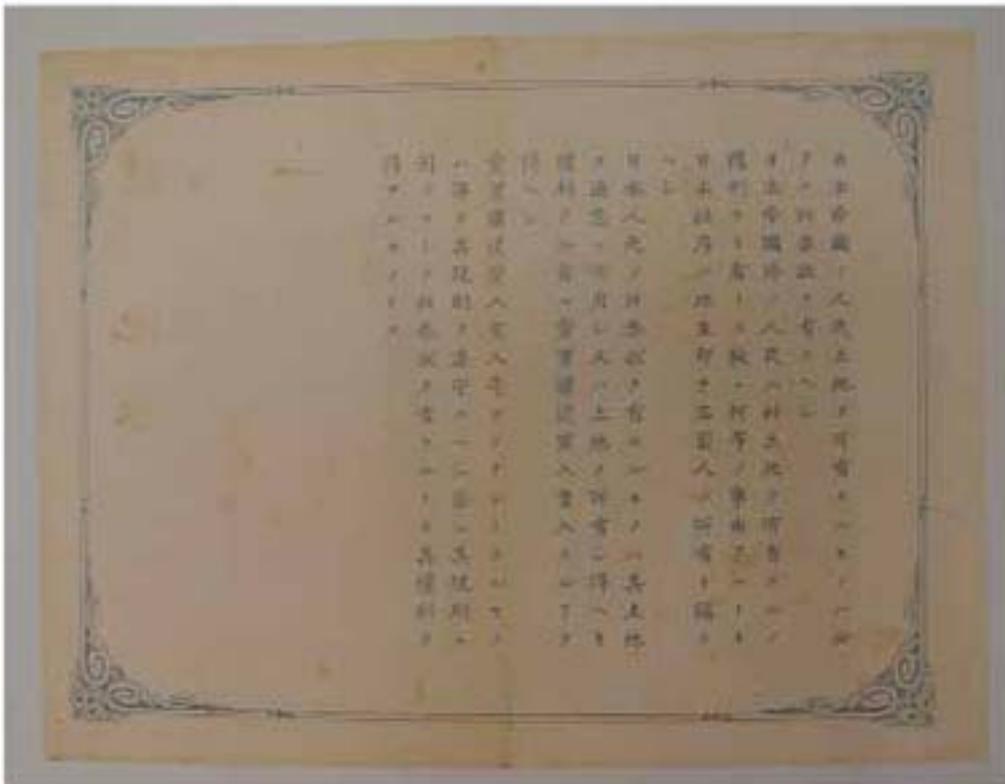
新聞

明治23年10月1日 福井新聞 1枚





地券 明治15年福井のものレプリカ 1点 表

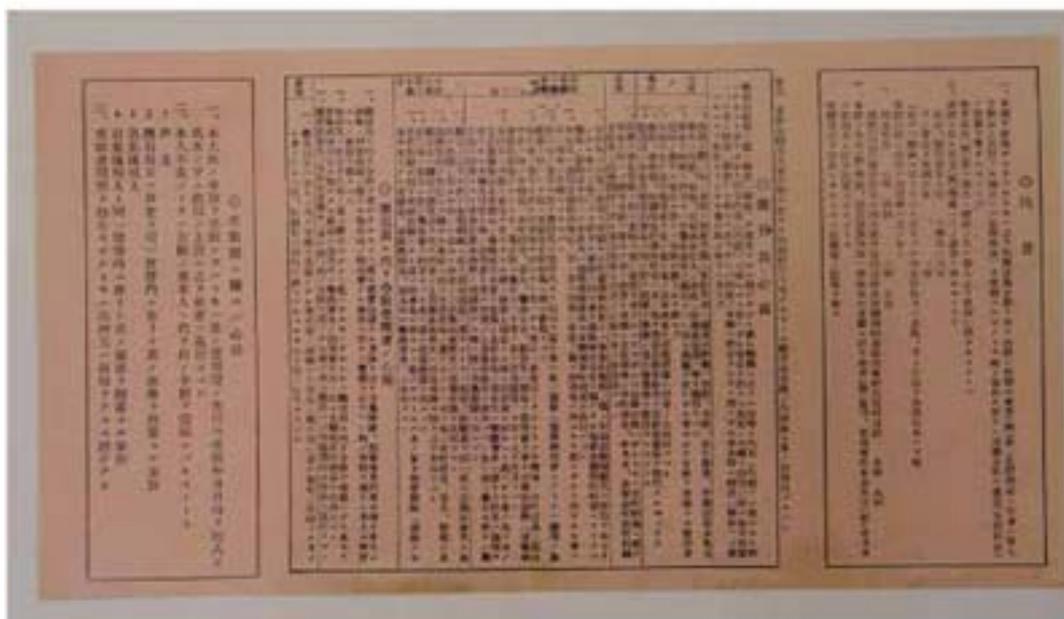


裏

赤紙 現在の鯖江市横江地区に保管されていたもので、未発例の形態も貴重。
1点



表



裏

博物館利用の方法④

《出張授業を利用する》

学芸員が学校へ出張授業を行います。先生と事前に打ち合わせし、できるだけご希望に沿った授業を一緒に作り上げて行きたいと考えております。お気軽にご相談ください。また、体験プログラムを学校へ出張して行うこともできます。鏡作りや勾玉作りは図工室などで作業させていただきます。

出張授業をご希望の際は、まずはお問い合わせください。学芸員がうかがうことが決まりましたら、「派遣申請書」をお送りください。

利用申込書

学校団体用

別添①表

利用日時 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分		受付日 ※博物館記入欄 年 月 日 () 電話・Fax・Eメール・郵送・来館		受付者 ※博物館記入欄	
学校名 () 市・町)			連絡担当者ご氏名		
電話 ()			Fax ()		
学年			児童(生徒)数 名 (クラス)		
引率者の数 名 (代表責任者氏名:)					
行動形態 ・クラスごと / ・班ごと (班の数: 班 / 1班の人数: 人) / ・その他 ()					
授業科目 ・社会科 ・生活科 ・総合的な学習の時間 ・その他 ()					
学習の目的					
利用施設 ・博物館のみ / ・養浩館庭園のみ / ・博物館+養浩館庭園 / ・その他 ()					
希望する活動 解説 ・希望 / ・不要 (常設展 ・ 特別展 ・ 養浩館庭園)					
当てはまる項目を○ ※博物館記入欄 担当学芸員:					
で困ってください ワークシート ・必要 / ・不要					
スタンプラリーのシート				枚	
モノ知りシート ()				枚	
ヒストくんのノート ()				枚	
【お渡し方法】 ・メールカー利用 / ・直接受け取りにくる / ・当日受付にて受け取り					
へんしん体験 (江戸時代参勤交代の衣装) 希望 / 不要					
特別展見学 ・する / ・しない					
その他					
最初の集合場所 時 分に ・博物館入り口 / ・養浩館庭園 西・東 門 / ・御泉水公園広場 (博物館東隣) に集まる ・班別行動で来館するので集合場所なし / ・その他 ()					
昼食場所の利用 ・希望 / ・不要 バスの駐車場利用 ・希望 / ・不要 (台) ※館内で昼食はとれません。隣接する御泉水公園広場 (晴天時) または博物館建物軒下 (雨天時) のみ利用可能です。					
館内での写真撮影 ・希望 / ・しない ※撮影が可能なのは原則としてロビー等の無料スペース及び常設展示室のみです。					
写真撮影の目的 ()					
当日の予定スケジュール					

年 月 日

福井市立郷土歴史博物館長 様

住 所
申込者 団体名 (印)
氏 名 (印)
連絡先

職員派遣申請書

福井市立郷土歴史博物館の職員の派遣について、下記のように申請いたします。

派遣職員名	
派遣目的	
派遣日時	年 月 日 時 分 から 年 月 日 時 分 まで
派遣先	名称 住所 連絡先

年 月 日

福井市立郷土歴史博物館長 様

住 所
申込者 団体名 (印)
氏 名 (印)
連絡先

貸出し用教材利用申込書

福井市立郷土歴史博物館の貸出し用教材について、次のとおり貸出しを申し込みます。万一資料を損失した場合は、その損害を賠償します。

教材の名称 及び数量	
利用目的	
利用期間	年 月 日から 年 月 日まで 年 月 日から 年 月 日まで
利用場所	
取扱責任者氏名	
教材の貸出し日時 返却日時	貸出し 月 日 時 分 返却 月 日 時 分
教材の運搬方法	
添付資料	

貸出し用教材利用についてのアンケート

この度は、福井市立郷土歴史博物館の貸出し用教材をご利用いただき、有難うございました。お手数ですが、教材を使用した感想について、下記のアンケートにご協力くださいますようお願いいたします。今後の教育普及活動の参考にさせていただきます。

(学校名 _____ 記入者 _____) (利用日 ____ 月 ____ 日)

- 利用した学年 (_____ 年生)
- 利用した授業名
[_____]
- 教材利用のねらい
[_____]
- 利用した結果ねらいは達成できましたか
[_____]
- 教材をどのように使いましたか (方法)
[_____]
- 教材の数は充分でしたか
[_____]
- 教材のどのような点がよかったですか
[_____]
- 教材のどのような点を改善して欲しいですか
[_____]
- 児童・生徒の反応はいかがでしたか
[_____]
- こんな教材が欲しいと思うものはありますか。その他ご自由に感想をお書きください
[_____]

ご協力有難うございました

質問シート

がっこう なまえ
(学校の名前))

(ねん くみ な まえ
年 組) (名前))

しつもん
質問したいこと

[]

[]

[]

アンケート

この度は福井市立郷土歴史博物館をご利用いただき、有難うございました。

以下のアンケートにご協力ください。

今後の当館の教育普及活動をより充実させるために活用させていただきます。

- 学校名 _____ 学校 _____ 年生 _____ 人
- 利用日 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分 ~ _____ 時 _____ 分
- 利用目的 教科学習（生活・社会・国語・総合） 遠足・社会見学
その他（ _____ ）

1. 児童・生徒の反応はいかがでしたか。どのようなことに興味を持っていましたか。

2. 学習のねらい、目的は達成できましたか

今回の学習のねらい・目的

達成できなかったことがあればお教えてください。また、その理由についてお考えのことがあればお教えてください。

3. 特に役に立った教材は何ですか

理由：

4. あまり役立たなかったものは何ですか

理由：

[]

5. 学習時間について

- ①ちょうどよい長さだった ②時間が足りなかった ③時間が余った

6. スタッフの対応はいかがでしたか

[]

7. 事前打合わせについてどのように感じられましたか

- ① 事前に打合わせて大変よかった ②面倒だが必要
③打合わせ方法や内容に改善が必要 ④事前打合わせは必要ない

理由：

[]

8. ご利用された活動内容について、よかった点、改善が必要だと思った点を教えてください

よかった点

改善点

[]

9. その他ご意見ご感想をお聞かせください

[]

福井市立郷土歴史博物館利用案内

開館時間	午前 9:00～午後 7:00 (ただし 11 月 6 日から 2 月末までは午後 5:00 で閉館)
休館日	12 月 28 日～1 月 4 日、展示替え等による臨時休館 (事前に 市政広報、ホームページ上 でお知らせします)
住 所	〒910-0004 福井市宝永 3 丁目 12-1
交通案内	福井駅より徒歩約 12 分 「すまいるバス」田原・文京方面行「江戸上町」下車徒歩約 3 分
電話	0776-21-0489
FAX	0776-21-1489
メールアドレス	history@museum.city.fukui.fukui.jp
ホームページ	http://www.history.museum.city.fukui.fukui.jp